

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年09月22日

計画の名称	横須賀港における安全・安心対策に係る港湾の整備（防災・安全）（重点）												
計画の期間	令和03年度～令和03年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横須賀市												
計画の目標	既存施設の適切な維持管理等を行い、背後地の安全性、船舶係留や荷役作業の安全性の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	126	A	126	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初		R3末
1	老朽化する港湾施設の改良、改修を図ることにより、港湾利用者に安全な施設を提供する。			
	老朽化施設の改良率	29%	%	32%
	改良完了施設数 / 早期に改良が必要な施設			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	横須賀市	直接	横須賀市	重要	改良	新港2・3号栈橋	水深 D=-5.5m~-7.5m、延長 L=100m	横須賀港(新港地区)						126		策定済
											小計						126		
											合計						126		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 計画策定主体（横須賀市）による評価	事後評価の実施時期 令和4年10月
	公表の方法 横須賀市HPでの公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	目標としていた港湾施設の改良率が上がり、今後、船舶の係留の安全性が向上する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	—
特記事項（今後の方針等）	
老朽化により改良が必要なその他の施設については、令和4年度から港湾施設改良補助事業として引き続き整備を進める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因	
1	目標値 / 実績値	老朽化する港湾施設の改良、改修を図ることにより、港湾利用者に安全な施設を提供する。 老朽化した施設の改良率が目標値に達した。	
	最終目標値		32%
	最終実績値		32%